

令和 6年 9月 26日

関係者 各位

国立大学法人 長崎大学
医学部 保健学科 井口 茂

令和 6 年度自立支援型サービス推進事業（自立支援型サービス推進体制整備）
研修会の開催について

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

令和 2 年度より実施しております「介護予防・自立支援推進事業」に、多大なご協力を賜り、感謝申し上げます。また、昨年度の介護予防・日常生活支援総合事業実態調査に際してもご協力を頂きありがとうございました。

今後、益々、高齢者が増え、現役世代が減少する 2040 年に向け、地域包括ケアシステム構築を進めるとともに健康寿命の延伸を目指すため、高齢者の状態に応じたフレイル予防・重度化防止対策が重要と考えます。具体的には、短期集中予防サービスなどの多様な自立支援型サービスの充実を図り、介護予防・自立支援の視点から、各市町における一般介護予防事業の推進、総合事業と他の地域支援事業と連動していく必要があります。

今回、「自立支援型サービス推進体制整備」を目的として、県内各市町の介護予防事業に関わる専門職等を対象に「介護予防・日常生活支援総合事業の枠組みと予防プランの流れ」をテーマとしてグループワーク形式にて研修会を開催することといたしましたので、ご案内申し上げます。

なお、開催形式は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン方式で開催することを申し添えます。

担当 長崎大学医学部保健学科
教 授 井口 茂

〒852-8520 長崎市坂本1丁目7番1号
Tel : (095)819-7962 (直通)
Fax : (095)819-7962

介護予防・日常生活支援総合事業の推進に向けた研修会
(令和6年度 自立支援型サービス推進事業)

目的

高齢者の自立支援においては、対象者に対するケアマネジメントにより、通所型短期集中予防サービスなどの総合事業やその後の通い場など一般介護予防事業での継続した支援につなげていくことが重要となります。

今年度の自立支援型サービス推進事業での研修会は、ケアマネジメントの考え方、総合事業と一般介護予防事業との連動性、住民主体の通い場の捉え方をテーマとして取り上げ、第2回の研修会では、介護予防・日常生活支援総合事業の枠組みと予防プランの流れについて考えてていきます。

第2回研修会

テーマ：「介護予防・日常生活支援総合事業の枠組みと予防プランの流れ」

日 時：令和6年11月 1日（金）18：00～19：30（予定）

対 象：介護予防事業に関わる専門職種

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、管理栄養士、
薬剤師、歯科医師、歯科衛生士、介護支援専門員 等

内 容：話題提供 「介護予防・日常生活支援総合事業に関わるアンケート
報告からみえる事業の枠組み」（20分）
報告者 井口 茂 先生（長崎大学生命医科学域・保健学系）

講 演 「予防プランの流れと自立支援に向けた目標設定の立案」
(30分)

講 師 横 素恵 先生（江平・山里地域包括支援センター・管理者）

グループワーク（40分）
「自立支援に向けた目標設定と専門職の役割」

申込方法：添付の申込用紙に必要事項を記載の上、メールにてお申し込み下さい。

メール送付先
事務担当：中山 sachie@nagasaki-u.ac.jp

〒852-8520 長崎市坂本1丁目7番1号
Tel：(095)819-7937（直通）
Fax：(095)819-7937